

最優秀賞（中学生の部）

やめよう「ながらスマホ」

小郡中学校 2年 中尾 涼楓

最近、問題視されている運転中の「ながらスマホ」を私はよく目にするようになったと感じます。その原因にはスマホの普及率が上がったという事もあると思いますが「ちょっとぐらい大丈夫」という根底にある気持ちが大いに関係しているのではないのでしょうか。

私は中学校に自転車に通っています。対向する通勤または通学の自転車を横目に見ているとイヤホンをしていて、スマホを片手で触りながらフラフラと運転している人を見かける事も増えたと感じます。それは私たちがよく使う自転車だけではありません。自動車での「ながらスマホ」もです。もしあと気づくのが一秒でも早ければ起きなかった事故だつてあるでしょう。命の危険があるのは「ながらスマホ」をした本人だけでなく、周りの自動車や自転車に乗っていた人、歩行者もです。普段よく使うスマホだからこそ「運転中でもちょっとぐらいなら大丈夫」という油断が生まれます。しかし、その油断が命取りになるのです。実際に「ながらスマホ」による交通事故は近年、増加傾向にあります。また時速40キロメートルで走行する自動車は一秒に11メートル進むといわれており、例え一秒でも「ながらスマホ」は危険だということが分かります。

少しスマホを見るのを我慢するだけで事故は減らせます。その我慢を私たちの住む福岡県からもっと多くの人たちへ広げていきましょう。そうすることで、きっと交通事故の無い明るい未来につながっていくはずです。